

あいち森と緑づくり環境活動・学習推進事業



自然観察会



～まちなかに作った“本物の森”を巡る～

森を再生する会は、都市緑化にも取り組んできました。それは「宮脇方式」という、土地本来の木を混植・密植で植樹する方法によるもので、短期間でメンテナンスフリーの森づくりができます。都市部で作る小さな森は「ミニフォレスト」と呼んでいます。今回は、2008年に植樹した安城学園第2グラウンド、安城市池浦西公園、2011年に植樹した東浦町のシーダーハウスを巡り、森づくりの成果を確認します。また、バロー安城日の出店、イオンモール東浦店などの企業によるミニフォレストも見て回ります。

☆☆ミニフォレストとは☆☆

故宮脇昭横浜国立大学名誉教授が提唱した土地本来の木＝潜在自然植生による森づくりは、都市部の狭い土地でも実践できます。それをミニフォレストと呼んでいます。混植・密植により樹木間の成長競争を促し、8年ほどで森が形成されます。この方式による森づくりは全都道府県に広がっており、海外でも、地球温暖化対策、都市の猛暑対策として注目されています。



1200人が参加した行われた安城学園第2グラウンドの植樹祭

令和5年10月29日(日)開催

午前9時から午後3時まで

J A安祥支店集合（安城市安城町）

参加費無料、昼食代実費

案内人：エスパックミック株式会社代表取締役社長
森林インストラクター 吉野知明氏

ミニフォレストづくりができる土地を探しています。ご協力いただける法人・個人はぜひご連絡ください。

主催 NPO法人森を再生する会

【申し込み先】

電話 090-1270-6851 汐満(しおみつ)

Eメール lll-lw@xj.commufa.jp



ホームページ



インスタグラム